

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日： 令和6年（2024年）10月7日

作成者：（課名） たからっ子総合相談センター

（氏名） 湯川 陽仁

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	中山台コミュニティ
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 1-3 交通安全対策 1-3-4 交通の安全確保
	【具体的な取り組み】 (27)車の制限速度の遵守 啓発活動を実施し、各自の自覚を促します。 (28)一時停止の履行 啓発活動を実施し、各自の自覚を促します。
取組内容の関係課	防犯交通安全課

2 対話の状況

(1) 実施概要
ア 日時： 令和6年10月4日（金） 午前10時から11時10分まで
イ 場所： 宝塚市役所 3B会議室
ウ 出席者： 以下のとおり <中山台コミュニティ> ● <関係課> 都市安全部 防犯交通安全課 池上係長、酒井 <協働の取組推進担当次長> たからっ子総合相談センター所長 湯川

(2) 確認できたこと

ア 対話の目的

・雲雀丘学園中山台幼稚園前の道路にて交通事故が多発しているため、今後の安全対策について協議を行う。

イ 現状

・中山台コミュニティセンター前の幹線道路における人身事故を受け、コミュニティと市で協議を行い、市が啓発看板を設置した。その後、コミュニティが通学路を中心に地域全体を点検し、今回、雲雀丘学園中山台幼稚園前の対策が課題として出てきた。
・2022年5月に乗用車同士の玉突き事故が発生。人的被害は無かったものの、乗用車がフェンスを突き破り園庭に侵入し、一歩間違えば子どもにも危害が及んでいた重大な事案であった。園長は事故を目撃しており、大変な危機感を持っておられる。学園としてコンクリートの擁壁を設置するなどの対策は講じているが、その後もバイクや自転車の転倒事故が発生しており、小学校の通学路でもあるため、スピードを落とす、横断歩道手前で停止するなどのドライバーへの啓発を強化する必要がある。

ウ 対策案

・(市) 園舎前のカーブには、最寄りにバス停もあることから、道路管理課がハンプ(黒い段差)を設置している。横断歩道の周辺にハンプを設置する方法もあるが、振動音がするため近隣住民の理解を得ることは難しいと考えられる。
→(コ) ハンプは設置せず、路面を他市のように立体的に見える塗装をするのはどうか。
→(市) 道路管理課が担当になるが、費用対効果などの観点から市としては採用しない方針と聞いている。
・(コ) 信号機の設置は以前検討したが、最寄りの交差点の信号機が時差式であり、また信号機は全体として減らしていく方向であるため困難である、と県公安委員会に言われた。
・(コ) 下り線と上り線の横断歩道の手前の複数の電柱に啓発看板を設置できないか。
→(市) 多く設置すると景色になってしまい啓発効果が薄れるのと、他の地域からも要望があり、予算の制約もあるため、箇所数は精査させていただきたい。
→(コ) 効果を出すためにできるだけ数は増やしてほしい。別の箇所で幹線道路に啓発看板を設置してもらったが、水路側にも必要と考えている。

エ 今後の対応

・松下会長、本庄園長と防犯交通安全課が現地で立会の上、設置場所の確認を行う。
確認後、看板の種類を決定し、依頼文を防犯交通安全課に提出することとする。
立会日 令和6年10月17日(木) 14:00~